



お伝えします！ 共同募金のこと…



毎年10月1日から翌年3月31日まで、全国一斉に実施される共同募金は、厚生労働大臣告示で期間が定められています。12月には年末たすけあい募金も併せて行われます。

この募金は、各都道府県の共同募金会という民間の団体により運営されています。皆様から寄せられた寄付金は、原則として県内の地域福祉活動のために使われ、災害支援などの特別な場合を除き、県外への支出はありません。

共同募金は「計画募金」という形式で、事前に使いみちと目標額を定め、地域福祉のための募金・助成計画を策定します。寄付金が集まってから使い道を考えるのではなく、計画に基づいて募金活動を行う点が特徴です。目標額や実績は公表が義務付けられており、透明性の高い活動を心がけています。

皆様からの温かいご支援は、県内のあらゆる民間の社会福祉活動を支え、地域福祉の向上に貢献します。助成計画をご理解いただき、ぜひ共同募金にご協力をお願いいたします。

共同募金の
使いみちの
詳細はこちら

データベース
はねっと



地域包括支援センターからのお知らせ

風薫る鎌倉虚子立子記念館で おしゃべりサロン



自然と史跡豊かな二階堂にある鎌倉虚子立子記念館で、おしゃべりサロンを開催しました。五月二十二日に開催しました。鎌倉虚子立子記念館は、正岡子規の後継者で明治・大正昭和と俳句の分野で活躍した俳人高浜虚子とその娘の俳人星野立子の記念館です。

高浜虚子の孫で、記念館の代表を務める星野椿さんの「交通不便な二階堂の高齢者の方々が集まっておしゃべりをして楽しんでほしい」というご厚意から、記念館を開放していただきサロンを開催することができました。

近所にある記念館は知っていたけれど、入る機会がなかった、短歌を詠んでいた俳句にも興味があったなどの理由で二階堂にお住まいの高齢の方々が集まって来られました。また、近くにある高齢者施設クロスハート二階堂の利用者の方々も足を運んでいただき、参加者は趣のあるリビングで星野椿さんのお話を伺ったり、参加者同士でおしゃべりしたりして、つらさがからしみました。さらに、記念館の見学や健康チェックなどをして、笑い声が絶えない時間を過ごすことができました。

●家族介護教室「最近の葬儀・お墓事情～身近な人の終活を考える～」 葬儀にまつわる話しに加え、一般墓や納骨堂、散骨などの多様化する最近のお墓事情についてお話しします。

- ◇日 時:10月21日(火) 14:00～15:30
- ◇場 所:鎌倉市福祉センター2階 第1・2会議室
- ◇講 師:セレモニースポート・オンリーワン協同組合
- ◇対 象:市内在住で介護者家族、あるいは介護に興味がある方
- ◇定 員:20名程度 10月1日から受付開始(申し込み順)
- ◇参加費:無料



●家族介護教室「施設めぐりバスツアー」 鎌倉地域にある老人福祉センター、グループホーム、特別養護老人ホームをマイクロバスで見学します。

- ◇日 時:11月3日(月・祝日)午後
- ◇対 象:市内在住で介護者家族、あるいは介護に興味がある方
- ◇定 員:15名程度 10月1日から受付開始(申し込み順)
- ◇参加費:無料



※広報かまくら10月号に掲載予定です。
◇お申し込み、お問い合わせ:
地域包括支援センター鎌倉市社会福祉協議会
☎0467-61-2600



みんぴょん通信(19)

鎌倉市民児協広報班



みんぴょん

民生委員・児童委員の活動を紹介します (大船地区)

5月18日(日)に開催された大船まつりに参加しました。おまつりの会場では、たくさんの方がステージパフォーマンスや模擬店を満喫するなど大盛況でした。

若い世代の団体も数多く参加し、会場の警備や救護を行うとともに、ごみの分別や清掃など、会場で問題が起こらないように種々の活動をしていました。



(会場を示す幟)



(警備の若者)

民生委員・児童委員は、大船地区社会福祉協議会のブースで「大船渡市森林火災救援募金」への協力をお願いと、民生委員・児童委員のPRをしました。

大船地区は、東日本大震災以来ずっと大船渡市の支援をしています。

(大船地区社会福祉協議会のブース)



お困りのことがあったら
なんでも
ご相談ください。

このように、民生委員・児童委員は地域の色々な団体と協力して楽しく活動しています。



(かまりンも参加)



※民生委員・児童委員についてのお問い合わせは、鎌倉市生活福祉課(0467-61-3958)までご連絡ください。

石川県輪島市 重蔵神社に 鎌倉市の支援の思いをお届け

腰越地区浜上町内会会長から能登半島地震の被災地である輪島に食料支援として三浦の大根を届けたいと生活支援コーディネーター(SC)に相談を受けました。

現在、輪島市の重蔵神社ではアルピニスト野口健氏が代表を務める認定NPO法人ピークエイドが、物資提供を行っています。これに賛同した10市町村が野菜の購入費を支援していますが、今回は被災地に新鮮な野菜を届けたいという会長の思いを受け、新鮮な大根230本を届けられる方法を鎌倉市社協としても模索しました。

野村会長は、石川県能登半島地震で被災した能登地方の被災地が豪雨災害で田畑に多くの被害が出たことにより野菜不足に至っていることを耳にしました。交流のある三浦の高梨和吉農園さんに相談したところ、早く被災地に新鮮な野菜を



お届けすることを受け入れて頂きました。現地への輸送には、輪島に何度も訪れた経験のあるかまくら防災士ネットに相談したところ、早く重蔵神社へのお届けが実現しました。色々な人が輪島の方に思いを寄せ、繋いでくれた大根が現地に到着し多くの方に配られたことに感謝とあたたかい気持ちになりました。ご協力頂きました関係機関の皆さま、大根のご寄付を頂きました高梨和吉農園様、浜上町内会会長、本当にありがとうございました。